

令和05年度 第1回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年06月06日 午後03時30分～午後04時45分

開催場所 王子警察署 講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 2名

内容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。

[業務説明]

- 1 子供を当事者とする重大交通事故防止対策の推進について
  - (1) 管内小学校における各種活動
    - ア 「通学路安全運転呼びかけ隊」を結成し、小学校の通学路で保護誘導活動や車両のドライバーに対する安全運転の呼び掛けを実施している。
    - イ 新一年生に対し、横断歩行訓練や通学路での危険箇所の確認を行い、今後も繰り返し小学生に対する訓練を実施していく。
    - ウ トラック協会と合同で交通安全教室を開催し、トラック運転者からの死角の説明や、実際に運転席に着座しての死角の体験を行った。
  - (2) 交通少年団における安全教育  
鼓笛隊団員の練習の際、登下校時における道路の歩き方をはじめ、交通安全教育を実施した。
  - (3) 広報啓発活動
    - ア 管内所在駅のデジタルサイネージ、当署玄関ホールのウエルカム・ボードを活用し、自転車安全利用五則に関する広報を実施した。
    - イ 自転車販売店の協力を得て、自転車乗車時のヘルメット着用促進に関する広報を実施した。
- 2 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
  - (1) 特殊詐欺の手口別認知件数  
5月末現在、前年同時期と比べて減少している。
  - (2) 各署広報啓発活動
    - ア 警備課主催のセミナーに、管内の住民や会社員を招き、特殊詐欺被害防止に関する防犯講話を実施した。
    - イ 管内所在の演芸場との協働
      - ・ デザインを共同で考案した特殊詐欺被害防止ポスターを、駅などの人目に付きやすい場所に掲示している。
      - ・ 商店街において花魁道中を実施し、多くの見物客に対して被害防止広報を実施した。
      - ・ 特殊詐欺を題材とした大衆演芸を披露していただいた。
    - 等、大々的にキャンペーンを実施した。
    - ウ 高齢者安心センターとの協働  
同センターと連携し、固定電話へのナンバーディスプレイ等の申込みを促進する活動を実施している。
- 3 110番通報の現状と対策について
  - (1) 令和4年中の都内及び当署の110番受理件数や、当署が受理した110番のうち、件数が多い内容やその対応
  - (2) 緊急ダイヤルである110番、相談ダイヤルの 9110
- 4 当署管内における交通事故発生状況について
- 5 指定重点犯罪等の発生状況について
  - (1) 当署における指定重点犯罪の発生状況
  - (2) 特殊詐欺事件被疑者の検挙状況、特殊詐欺の未然防止状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 重大交通事故防止対策の強化推進について
    - ア 当署管内の人身事故の発生件数は昨年比で増加しており、重大な結果につながるおそれのある事故も発生している。

- イ 梅雨の時期は雨天が多く、視界不良や道路環境の悪化等、事故に直結するような悪条件の日が増えると予想される。
- (2) 風水害を想定した各種対策の推進について
  - ア 梅雨の長雨、猛暑期のゲリラ豪雨、台風等による住居や道路の浸水や河川の氾濫等で、甚大な被害の発生も予想される。
  - イ 当署では、災害から管内住民を守るための各種対策を推進し、自助・共助・公助の意識を広めるため、あらゆる機会を利用して管内住民に指導・教養を実施している。
  - ウ 署員が様々な災害に対応できるよう、各種訓練を実施していく必要がある。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 重大交通事故防止対策の強化推進について
    - 自転車で傘差し運転をしている人を見掛けるが、梅雨に入ると傘差し運転が増えて危険である。また、自転車で車道を通るときは、道路脇に駐車車両があると非常に怖さを感じる。
    - こうしたルールを守らない人たちを注意したり、取り締まったりして、重大交通事故を防止してほしい。
  - (2) 風水害を想定した各種対策の推進について
    - 王子署管内は土地の低い場所が多く、そういった地域では大雨等による被災への危機感がある。
    - その反面、風水害と震災では避難場所が違うことを理解していない住民もいるので、警察で実施している各種キャンペーンの際は、様々な災害による被害を想定したパンフレットを渡したり、各町会に避難場所を周知させたりして、強力に風水害対策を推進してほしい。

[その他の意見要望等]

夏になると児童公園周辺の樹木が生い茂り、特に、公園と道路の間の植栽が伸びると道路から公園内が見えづらくなり、子供が犯罪に巻き込まれる恐れもある。  
警察から区に対して申し入れを行ってほしい。

その他	令和5年度第2回会議は、令和5年9月開催予定
-----	------------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

開催日時 令和05年02月24日 午後03時20分～午後05時00分

開催場所 王子警察署 第一会議室  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 2名

内容

[業務説明]

- 1 前回協議会で出された質問への回答  
「尾長橋トンネルのような地下を通行する箇所は、豪雨等で冠水したことはないのか。また、トンネル内に流れ込んだ水の排水環境はどうなっているのか。」との質問に対して、道路管理者に確認したところ、今まで尾長橋トンネルが冠水したとの情報はなく、排水については、ポンプを稼働して下水に放流しているとの旨を説明した。
- 2 自転車安全利用五則の周知と重大交通事故防止対策の強化推進について
  - (1) 自転車安全利用五則を一つずつ説明し、周知させるために広報啓発を推進している旨を説明した。
  - (2) 交通違反をした自転車による事事例について説明し、違反以外でも、マナーの悪さによる事故や、ハンドル操作の誤りなど自転車の特性を知らないために起こる事故も多数発生している旨を説明した。
  - (3) 都内及び当署管内の事故発生状況と自転車関与率、当署管内の事故の特徴について説明し、今後も天候による道路環境の変化や自転車の特性について自転車利用者へ周知していく旨を説明した。
  - (4) 署員を小学校に派遣し、模擬信号機、横断歩道、駐車車両などを活用するなど、実際の道路を想定した安全教育を実施し、自転車に関する効果測定を実施した旨を説明した。
  - (5) 交通少年団の一日研修において、行き帰りのバス内で腹話術人形やDVDを活用した交通安全教室を実施した旨を説明した。
  - (6) 自転車安全利用五則のうち、自転車利用者のヘルメット着用を周知するため、自転車交通事故防止キャンペーンにより自転車利用者に対し呼び掛けを実施した旨を説明した。
  - (7) 交通課窓口等への来署者を対象に、当署1階ロビーに自転車用のヘルメットを展示し、ヘルメット着用の呼び掛けを実施している旨を説明した。
  - (8) 管内に所在するスーパーマーケットに自転車安全利用五則のポスターを掲示した。また、ホームセンターでは店内放送を活用して広報を実施している旨を説明した。
- 3 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
  - (1) 昨年一年間の特殊詐欺の手口別認知件数が前年比マイナスであった旨を説明し、今後も各種対策を実施する旨を説明した。
  - (2) 「北区・練馬区・板橋区内警察署合同特殊詐欺被害防止キャンペーン」を実施し、お笑い芸人によるトークや被害防止広報、広報啓発チラシの配布など、多くの防犯ボランティアが参加し盛況であった旨を説明した。
  - (3) 王子駅前交番に電光掲示板を設置し、特殊詐欺被害防止をはじめとする各種広報啓発活動を実施した旨を説明した。
  - (4) 今年から特殊詐欺の手口に加わった「サポート詐欺」の手口について説明し、当署では広報啓発チラシを作成し、管内所在のコンビニエンスストア全店舗に対し店内に掲示してもらうよう依頼した旨を説明した。
  - (5) 署内のエレベーター内に「STOP! ATMでの携帯電話」のステッカーを掲示し、来署者に還付金詐欺被害防止の広報啓発を実施している旨を説明した。
- 4 指定重点犯罪発生状況について  
当署における指定重点犯罪の発生状況及び特殊詐欺事件被疑者の検挙状況、特殊詐欺の未然防止状況について説明し、引き続き被害防止対策と検挙対策を推進していく旨を説明した。
- 5 取締り活動ガイドラインについて  
取締り活動ガイドラインの見直しについて説明し、意見等を求めた。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 子供を当事者とする重大交通事故防止対策の推進について

- ア 平成30年から令和4年の5年間で、歩行者の年齢別死傷者の中で最多なのは7歳の子供という統計がある。
  - イ 子供の交通事故を防止するための施策の一つとして、「通学路安全運転呼びかけ隊」という交通ボランティア団体の拡充を推進していく必要がある。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
    - ア 当署管内の昨年一年間の特殊詐欺被害認知件数は37件で、その詐欺被害総額は約4,500万円を超えており、本年から新たにサポート詐欺が特殊詐欺の手口に追加されるなど、引き続き厳しい情勢である。
    - イ 管内住民に特殊詐欺の諸対策や最新の手口を周知し、1件でも被害を防止するために取り組んでいく必要がある。
  - (3) 110番通報の現状と対策について
    - 110番で受理する通報内容は様々であることから、管内でどのような通報があり、警察官がどのような活動をしているのか知っていただくことで、管内の情勢と警察活動への更なる理解と協力をいただきたい。
- 以上のことを説明し、意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
- (1) 子供を当事者とする重大交通事故防止対策の推進について
    - 王子署では今までも小学校などで子供に対する交通安全教室や自転車教室など様々な対策を実施していただいている。これからの時期は小学校に新たに入学する児童もあり、「通学路安全運転呼びかけ隊」の拡充をはじめとする各種対策を推進し、悲惨な事故から子供を守る活動を推進していただきたい。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
    - 昨年の特詐欺の発生件数は前年と比べ減少したものの、まだ多くの発生があり被害額も高額となっている。さらに「サポート詐欺」という新たな手口が加わるなど、犯人たちも様々な手を使って騙そうとしている。今後も住民の安全を脅かす特詐欺の被害を1件でも減らせるよう対策を進めていただきたい。
  - (3) 110番通報の現状と対策について
    - 王子署管内に住む私たちにとって110番通報の現状についてはとても関心があり、事案に対応するためにどのような活動をしているのか知りたい。110番通報の現状を分析しながら管内の安全・安心を守るために各種対策を推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「町会でスクールゾーンにおける学童擁護活動をする際、王子署から危険箇所等を教えていただくことで、効果的な配置箇所を検討していきたい。」との意見があり、「署で把握した危険箇所等について、随時情報提供していく。」旨を回答した。
- 2 委員から「サポート詐欺について、パソコンの画面上に警告画面等が出たら、必ず警察に通報するということを啓蒙してほしい。」との意見があり、「あらゆる機会を通じて広報していく。」旨を回答した。

その他	令和5年度第1回会議は、令和5年6月開催予定
-----	------------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第3回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年11月24日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所 王子警察署 講堂  
出席者 協議会委員 8名  
署長ほか 2名

内容

[業務説明]

- 1 当署員の懲戒処分について報告し、再発防止を徹底する旨を説明した。
- 2 重大交通事故防止対策の推進について
  - (1) 秋の全国交通安全運動に先立ち、女優の高島礼子さんを一日署長に招き、交通安全パレード及びキャンペーンを実施した旨を説明した。
  - (2) 秋の全国交通安全運動初日に、交通安全協会員に出席いただき、地域住民の交通安全意識と職員の士気高揚を目的とした出動式を実施した旨を説明した。
  - (3) 二輪車ストップキャンペーンにおいて、二輪車利用者に対し、ヘルメットのあごひもの結着状況を確認し、プロテクター着装の必要性について呼び掛けを実施した旨を説明した。
  - (4) 交通機動隊のサインカーを出動させ、飲酒運転撲滅のための広報を実施し、交通事故防止啓発品を配布して飲酒運転撲滅を呼び掛けた旨を説明した。
  - (5) 署員を小学校に派遣し、道路の正しい歩き方や交通事故防止について説明し、交通事故防止クイズDVDを放映した後、理解度を確認するためのテストを実施した旨を説明した。
  - (6) 交通ボランティアの協力を得て、王子駅前ロータリーや道路標識、カーブミラーの清掃を実施した。また、今後も道路環境整備に努めていく旨を説明した。
  - (7) 署玄関に設置してある署員手書きのウエルカムボードを利用し、季節に応じたイラストや交通安全広報を実施し、交通事故防止の呼び掛けた旨を説明した。
- 3 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
  - (1) 今年の特種詐欺の手口別認知件数について、前年同期比で若干減少している旨を説明し、アポ電情報が入った際の当署における対策を説明した。
  - (2) 管内に所在する金融機関の出張所内において、金融機関職員と共に客に対して特殊詐欺被害防止に関する広報を実施した旨を説明した。
  - (3) 当署に職場体験に来ていた高校生に特殊詐欺について防犯指導を行った後に、高校生と共に通行人に対してチラシや被害防止グッズを配布しながら広報啓発活動を実施した旨を説明した。
  - (4) 町会の会館において、町会員に対し特殊詐欺の手口や対策について防犯講話を実施し、自動通話録音機の効果を周知した旨を説明した。
  - (5) 管内に所在する5校の中・高等学校の生徒に特殊詐欺被害防止川柳の作成を依頼し、その川柳の中から学校や当署員が選出した作品をJR東十条駅構内に掲示し、キャンペーンを実施した旨を説明した。
- 4 風水害対策の推進について
  - (1) 職場体験で来署した高校生に対し、災害用の装備資器材の説明や災害用ロープの結び方訓練を実施した。今後も若い世代の防災ボランティア育成に力を入れていく旨を説明した。
  - (2) 署員を管内の特別支援学校に派遣し、職員に対し、防犯・防災に関する各種訓練を実施した旨を説明した。
  - (3) 管内に居住する外国人に起震車による震災体験や煙中避難訓練を体験してもらい、災害発生時には防災リーダーとして、自国の言葉で状況を伝達したり、様々な活動をしてもらえるよう今後も訓練を実施していく旨を説明した。
  - (4) 町会と合同の防災訓練において初期消火訓練や炊き出し訓練を実施し、今後も「自助・共助・公助」の意識を広めるために、訓練を実施していく旨を説明した。
- 5 交通事故発生状況について  
当署における交通事故発生状況について説明し、引き続き交通安全確保に向けた活動を推進していく旨を説明した。
- 6 指定重点犯罪発生状況について  
当署における指定重点犯罪の発生状況及び特殊詐欺被疑者の検挙状況、特殊詐欺の未然防止状況について説明し、引き続き被害防止対策と検挙対策を推進していく旨を説明した。
- 7 町会の活動に対する感謝状贈呈について  
交番でいつも緊張感を持って勤務する警察官に感謝の意を込めて、定期的に町会の

方々が交番に「花一輪」を届けてくれている活動に対し感謝状を贈呈した旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 自転車安全利用五則の周知と重大交通事故防止対策の強化推進について
    - ア 9月末現在、当庁における交通事故総数に占める自転車関与事故の割合は46.6パーセントであり、増加傾向である。
    - イ 自転車による赤信号無視などの交通違反については、より厳しく指導取締りを実施しており、このような違反は重大事故に直結し、取締り要望も多く寄せられている。
    - ウ これまでも広報啓発に努めてきた「自転車安全利用五則」が改められたことから、周知を図り、重大交通事故を防止していく必要がある。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について  
今年の当署管内での特殊詐欺認知件数は36件で、被害総額は約4,380万円を超えている。多くの防犯ボランティアによる協力と各種対策を実施した結果、5月以降は発生件数が鈍化していたが、9月以降増加傾向で、予断を許さない状況であり、積極的に各種対策を推進し、1件でも被害を防止するために取り組んでいく必要がある。  
以上のことを説明した上で、意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 自転車安全利用五則の周知と重大交通事故防止対策の強化推進について  
王子署は、今年の10月で交通死亡事故ゼロの日が丸2年を達成したと説明があった。自転車のマナー違反等については、日頃から協議会委員や管内住民の関心も高く、地域や団体と協力して各種対策を実施し、交通死亡事故ゼロをこの先も継続していただきたい。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について  
特殊詐欺については、前年と比べて減少はしているものの、まだまだ発生は多く、被害金額も高額となっている。今後も1件でも被害を減らせるよう対策を進めて管内住民の体感治安の向上に努めていただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「自転車利用者は、ルールを守らなければならないという意識が低いように感じる。地道にルールを守らせるような対策を進めてほしい。」との意見があり、「様々な機会を通じてルールを守らせる対策を進めていく。」旨を説明した。
- 2 委員から「自転車のルールを分かっていない人が多い。幅広い世代に対して自転車のルールを周知していく対策を進めてほしい。」との意見があり、「小・中・高校での交通安全教室や様々な機会を通じてルールを周知するよう対策を進めていく。」旨を説明した。
- 3 委員から「最近テレビニュースで、無人販売所でお金を払わずに品物を持ち去るといった事件をよく見る。王子署管内にある無人販売所には防犯カメラは設置されているのか。」との質問があり、「管内の無人販売所には防犯カメラを設置するよう指導している。」旨を説明した。
- 4 委員から「尾長橋トンネルのような地下を通行する箇所は、豪雨等により冠水したことはないのか。また、トンネル内に流れ込んだ水の排水環境はどうなっているのか。」との質問があり、「最近、尾長橋トンネルが冠水したという情報はないが、次回会議までに調べて回答する。」旨を説明した。

その他

令和4年度第4回会議は、令和5年2月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第2回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年08月25日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所 王子警察署 講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 前回の協議会で出された意見への回答について  
「横断歩道が設置されている道路で、歩道直近まで建物が建っているため、歩行者が見えにくい箇所があるので改善してほしい。」との意見について、今後予定されている道路拡幅までの間、何らかの対策をしてもらえるよう区に申し入れた旨を説明した。
- 2 自転車の重大交通事故防止対策の推進について
  - (1) 管内の自転車事故が多い場所において、「自転車安全利用TOKYOキャンペーン」を実施し、自転車利用者に対し交通事故防止に関する注意喚起を実施した旨を説明した。
  - (2) 交通安全窓口にて「交通安全カプセルトイ」を設置し、運転免許証返納のために来署した高齢者や、住所変更などの手続きに子供を連れて来署した方々に実施してもらい、カプセルの中に入った交通安全グッズをプレゼントしている。  
また、個別に交通安全教育を実施し、好評である旨を説明した。
  - (3) マナー違反の自転車利用者に対し、指導・警告を実施した。また、特に危険・悪質な利用者に対しては、交通切符処理をした旨を説明した。
  - (4) 管内の小学校において、模擬信号機や横断マットなどの安全教育資材を用いて自転車交通安全教室を実施し、その際、自転車の点検要領についても指導した。  
また、中学校においては、スケアード・ストレイト方式による自転車交通安全教室を実施しており、今後も継続して心に残るような教室を実施していく旨を説明した。
  - (5) 交通課員が、王子労働基準監督署主催の全国安全週間説明会において、参加者に対し、都内の交通事故概要、横断歩道の通過要領、駐車違反などについて交通安全講話を実施した旨を説明した。
  - (6) 管内の小学校において、夏休み前の給食の校内放送を活用し、夏休み中の交通事故防止について全校生徒に呼び掛けを実施した旨を説明した。
- 3 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
  - (1) 今年の特種詐欺の手口別認知件数について、前年同期比で若干減少している旨を説明し、アポ電情報が入った際の当署における対策を紹介した。
  - (2) 特殊詐欺被害防止対策として活用する自動通話録音機の設置台数の推移と、「騙され率」（被害件数と未然防止件数を足してアポ電件数で割り、100を乗じた当署で独自に考案したもの）について説明し、自動通話録音機の設置台数が増えると「騙され率」は下がっている状況があり、自動通話録音機が特殊詐欺被害防止に効果的であると考えられるため、今後も設置促進を進めていく旨を説明した。
  - (3) 町会役員と合同で防犯パトロールを実施後、最近の特種詐欺の手口や対策について防犯講話を実施し、自動通話録音機の効果を説明したところ、その場で設置依頼を受けるなど好評であった旨を説明した。
  - (4) 十条銀座商店街に「STOP! ATMでの携帯電話」と記載された懸垂幕を掲示し、特殊詐欺被害防止広報を実施している旨を説明した。
  - (5) 防犯協会や町会の方々の協力を得て、過去に特殊詐欺の被害者が、お金を引き出したり、振り込んでしまったATMコーナーの前などにおいて各種広報や防犯グッズを配布するなどキャンペーンを実施した旨を説明した。
  - (6) 署玄関ホールにおいて、掲示板を活用し、令和3年中の特種詐欺被害マップや各種防犯グッズ、自動通話録音機を掲示し、来庁者向けに被害防止の啓発を実施している旨を説明した。
- 4 交通事故発生状況について  
当署における交通事故発生状況について説明し、引き続き交通安全確保に向けた活動を推進していく旨を説明した。
- 5 指定重点犯罪発生状況について  
当署における指定重点犯罪の発生状況及び特殊詐欺被疑者の検挙状況、特殊詐欺の未然防止状況について説明し、引き続き被害防止対策と検挙対策を推進していく旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 重大交通事故防止対策の強化推進について
    - ア 例年8月中は、暑気払いなどにより飲酒機会も増えることが見込まれ、飲酒運転や路上横臥による重大交通事故の発生が懸念される。
    - イ 当署管内では令和2年10月に交通死亡事故が発生しているが、それ以降の発生はなく、今年10月で交通死亡事故ゼロの日が2年間となることから、各種対策を実施し、交通死亡事故ゼロの日を継続していきたい。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
    - 今年の当署管内での特殊詐欺発生件数は24件で、被害総額は約3,400万円を超えている。多くの防犯ボランティアによる協力と各種対策を実施した結果、5月以降は発生件数が鈍化してきているが、多くのアポ電情報が寄せられるなど未だ予断を許さない状況である。
  - (3) 風水害対策の推進について
    - ア 最近、ゲリラ豪雨による住居や道路への浸水、線状降水帯の発生に伴う河川の氾濫など、日本各地で大きな被害が報告されている。  
また、これから台風期を迎えることから、更に大きな被害が発生することも予想される。
    - イ 当署では、災害から管内住民を守るため各種対策を推進し、自助・共助・公助の意識を広めるため、防災週間等を利用して管内住民に指導・教養を実施していく必要がある。
- 以上のことを説明した上で、意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 重大交通事故防止対策の強化推進について
    - 今年10月で交通死亡事故ゼロの日が丸2年になるということで、是非達成するよう今後も重大交通事故防止対策を推進し、悲しい思いをする方が一人でも減るようお願いしたい。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
    - 協議会委員も身内や近隣の方々などに特殊詐欺の現状を伝えて注意喚起するなど協力していきたいと思うので、王子署としても1件でも被害を減らせるように対策を進めていただきたい。
  - (3) 風水害対策の推進について
    - 台風シーズンに伴い、関東地方もいつ大きな風水害が起きてもおかしくない状況にある。風水害対策はとても大切なので、管内住民を守るために各種対策を進めていただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「一般災害で避難する場所と水害で避難する場所は違う。特に最近転入してきた住民の中には避難場所を知らない人もいると思うので周知してほしい。」との意見があり、「様々な機会を通じて周知していく。」旨を回答した。
- 2 委員から『災害時には、防災無線よりパトカーによる広報の方が耳に届いた。』という話を聞いたことがある。災害発生時にはパトカーを活用しての広報も検討してほしい。」との意見があり、「可能な限りパトカーによる広報を実施していく。」旨を回答した。
- 3 委員から「以前、町会の集まりで防犯講話を聞いた際、とても実感が湧き心に残った。他の町会でも実施してほしい。」との意見があり、「要請があれば署員を派遣し実施していく。」旨を回答した。
- 4 委員から「特殊詐欺被害防止対策で使用される自動通話録音機は、どのような効果があるのか教えてほしい。」との質問があり、「アポ電には、直接電話に出ないことが一番大事で、通話が録音されることから犯人側も警戒する。メッセージが流れた後、例えば電話に出ることになっても一呼吸置くことにより冷静に対応ができる。こうした理由から被害防止に効果があると思うので、今後も設置促進を進めていく。」旨を回答した。

その他

令和4年度第3回会議は、令和4年11月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第1回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年05月25日 午後03時00分～午後04時45分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 3名
------	----------	-----	---------------------

内容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 前回の協議会で出された意見への回答について  
「デジポリスについては、アプリを入手していない人でも他のサイトからリンクして見られるようにしてはどうか。また、文字が小さかったり、画面の構成上見にくいものがあるので改善してほしい。」との意見について、現在、本部主管課に意見としてあげているので、回答があれば次回以降の協議会で紹介する旨を説明した。
- 2 子供に重点を置いた交通事故防止対策の推進について
  - (1) 署玄関ホールに「キッズコーナー」を設置し、反射材などの交通安全グッズを展示し、来署する子供達に交通安全広報を実施するとともに、掲示板を活用し、交通法規の改正点や交通少年団の活動状況等について紹介している旨を説明した。
  - (2) 管内の小学校において、「東京セーフティアクション」のDVDを活用し、交通ルールを分かりやすく説明し、一緒にダンスをするなど楽しみながら学べる交通安全教室を実施した旨を説明した。
  - (3) 交通少年団の子供達と一緒に交通事故防止や安全確認の徹底を呼び掛けるキャンペーンや、北区の協力を得て、JR王子駅のガード下にあるカルチャーロードにおいて交通安全に関する展示をするなど、広報啓発活動を実施した旨を説明した。
  - (4) 小学校新一年生と共に学校周辺の道路を実際に歩き、注意箇所を示しながら歩行訓練を実施した。さらに、終了後、交通セーフティ検定を実施し、認定証を交付するなど子供を交通事故から守るための各種対策を実施した旨を説明した。
- 3 特殊詐欺をはじめとする令和3年中の犯罪情勢の分析と各種対策の推進について
  - (1) 令和3年中の王子署管内の全刑法犯認知件数は増加しており、特殊詐欺については前年比若干のマイナスであったが、過去3年の平均値では増加している。また、万引きについては大幅に増加しており、各種被害防止対策を実施していく必要がある旨を説明した。
  - (2) 令和3年中の特殊詐欺の手口別認知件数について説明し、発生件数及び被害総額も大きく、今後も被害防止に向けて各種対策を実施していく必要がある旨を説明した。
  - (3) 新型コロナウイルスのワクチン接種会場内において、特殊詐欺等の被害防止チラシの掲示を実施するとともに、来場者に対し、被害防止の呼び掛けを実施した旨を説明した。
  - (4) 管内に所在する新聞専売所に特殊詐欺被害防止広報用チラシを持ち込み、新聞の折込みチラシと一緒に各家庭に配布していただくよう依頼した旨を説明した。
  - (5) 防犯キャンペーンを実施した際、自動通話録音機に実際に録音された「アポ電」を聞いてもらったところ、設置を希望する方が現れるなど効果が見られた旨を説明した。
- 4 特殊詐欺事件被疑者の逮捕について  
特殊詐欺事件被疑者の逮捕について、事案の概要等を説明した。
- 5 春の全国交通安全運動の実施結果について  
絶対に交通死亡事故を発生させないとの強い決意のもと各種取組を推進した結果、運動期間中の人身事故の発生件数は前年の運動期間中と同件数で、交通死亡事故も発生しなかったと説明した。
- 6 取締り活動ガイドラインについて  
取締り活動ガイドラインの見直しについて委員に説明し、了承を得た。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 自転車の重大交通事故防止対策の推進について
    - ア 自転車は幼児から高齢者まで誰もが気軽に利用できる便利な乗り物だけに、基本的なルールやマナーを守らずに利用すると大きな事故に繋がることとなる。
    - イ 令和3年中の管内での自転車が関与した交通事故での負傷者数は、全負傷者数の約47パーセントと多くの割合を占めており、広報啓発活動や取締り等の交通

- 事故防止対策を推進していく必要がある。
- (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
- ア 管内に居住する65歳以上の方の割合は約27パーセントと高く、被害に遭われる方も少なくない。また、被害には至っていないものの、毎日のようにアポ電の情報も寄せられている。
- イ 特殊詐欺被害防止のため自動通話録音機に大きな効果があると思われるものの、当署管内で被害に遭われた方のほとんどが自動通話録音機を設置しておらず、設置促進を含めた各種対策を推進する必要がある。
- 以上のことを説明した上で、意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
- (1) 自転車の重大交通事故防止対策の推進について  
自転車の事故で怪我をしたりする方が少しでも減るように交通事故防止対策を進めるとともに、食品宅配などの自転車運転者の交通違反やマナー違反に対する対策も進めていただきたい。
- (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について  
特殊詐欺については、協議会委員をはじめ、管内住民の一番の関心事だと思う。一件でも多く被害を抑え込むよう、自動通話録音機の設置促進などの対策を進めるとともに、被害に遭った時はすぐに通報するように啓発を進めていただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「お昼前後や夕方など、食品宅配の自転車運転者が危険な運転をしているのを見掛けることがあるので、対策をしてほしい。」との意見があり、「時間帯を絞って、制服姿で見せる交通配置や各種対策を実施していく。」旨を回答した。
- 2 委員から「交通事故防止対策に交通少年団や鼓笛隊を活用していただきたい。」との意見があり、「各種イベントやキャンペーンなどで活動できるよう計画していく。」旨を回答した。
- 3 委員から「スクールゾーンが設置されている道路で、入口に交通指導員が配置しているため、脇道からスクールゾーンに侵入してくる車両がある。侵入防止のためのカラーコーン等を設置してもいいのか。」との質問があり、「設置を検討する際は、その都度ご相談をいただきたい。」旨を回答した。
- 4 委員から「横断歩道が設置されている道路で、歩道直近まで建物が建っているため、歩行者が見えにくい箇所があるので、改善してほしい。」との意見があり、「現場を確認し、検討する。」旨を回答した。
- 5 委員から「特殊詐欺対策の自動通話録音機は個人に設置を促すより、町会等の集まりの際に勧めれば設置してくれるのではないかなと思うので、検討してほしい。」との意見があり、「町会や自治会の各種集会に署員を派遣し、設置促進を進めていきたい。」旨を回答した。
- 6 委員から「自動通話録音機の設置を勧められても設置したくないという人の中には、使い方が分からないとか、電話機が使えなくなるのではないかななどの誤った認識を持った人もいますので、対応を検討してほしい。」との意見があり、「各種会合や個別に設置する際に丁寧に説明し、理解をしてもらうよう努めていく。」旨を回答した。

その他

令和4年度第2回会議は、令和4年8月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和03年度 第4回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年03月15日 午後03時15分～午後05時00分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 8名 署長ほか 3名
------	----------	-----	---------------------

内容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 子供や自転車利用者に対する交通事故防止対策について
  - (1) 署玄関ホールへのウェルカムボードの設置、掲示板への反射材グッズやイラストを用いた反射材着用推進の広報及び来署者に署員が作成したチラシを配布するなど交通安全広報を実施した旨を説明した。
  - (2) 管内の幼稚園に、チラシを見ながら親と子が一緒に交通安全について話し合う機会を持ってもらえるよう、署員が作成したチラシの配布を依頼した旨を説明した。
  - (3) 管内の小学校において、児童に対しDVD視聴や交通安全に関するテストを実施し、腹話術人形と一緒に答え合わせをしたり、交通ルールについて検討会をするなど工夫を凝らした交通安全教室を実施した旨を説明した。
  - (4) 管内の小学校の新入学児童の保護者説明会場において、入学前に親子で通学路の点検をして、危険箇所を確認するように呼び掛けるなど、交通安全教育を実施した旨を説明した。
- 2 特殊詐欺をはじめとする犯罪被害防止対策について
  - (1) 劇団に依頼し、特殊詐欺の手口などに触れた特殊詐欺被害防止DVDを作成し、管内の各町会・自治会、高齢者あんしんセンターに配布して、注意喚起を実施した旨を説明した。
  - (2) 管内郵便局や金融機関において、職員に対し強盗犯人への対応要領や職員による通報訓練、署員による防犯講話や着色球の投てき訓練を実施した旨を説明した。
  - (3) 署玄関ホールに設置してあるデジタルサイネージを活用して万引き防止の動画を放映し、来署者に視聴してもらい万引き防止に向けた機運の醸成と規範意識の向上を図った旨を説明した。
  - (4) 金融機関職員と協力してキャンペーンを実施するなど、特殊詐欺被害防止対策を推進した旨を説明した。
- 3 前回協議会で出された意見要望等への取組結果について
  - (1) 「音声流れる歩行者用信号機の設置条件等について教えてほしい。」との要望については、設置に関して、物理的に設置できない場所を除き、要望があれば受理することなどについて説明した。
  - (2) 「交差点等で右左折や直進といった複数車線がある場所で、自転車が直進する場合はどの車線を走行するべきなのかを教えてほしい。」との質問に対して、自転車で直進する場合は左折車線を走行するが、周囲の車両に十分注意が必要である旨を説明した。
  - (3) 「令和3年中に発生した侵入窃盗と強盗はどの地域が多いのか教えてほしい」との要望について、侵入窃盗が複数発生した地域や強盗が発生した地域について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 子供に重点を置いた交通事故防止対策の推進について
    - ア 管内住民の子供の交通事故防止への関心の高さについて
    - イ 小学校への新入生入学時や、各学校で新学期を迎えるこの時期に交通安全教育を実施する必要性について
  - (2) 特殊詐欺をはじめとする令和3年中の犯罪情勢の分析と各種対策の推進について
    - ア 当署の2月末現在の特殊詐欺発生件数について
    - イ 令和3年中に発生した犯罪の分析について
 以上のことを説明した上で、効果的な各種対策を推進していくため、意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 子供に重点を置いた交通事故防止対策の推進について
 

王子署は子供に対する交通事故防止に様々な工夫を凝らし取り組んでいると思う。そのような中で、学校では新入生を迎え、新学期が始まる時期であるため、今まで以上に子供が事故に遭わないための取組を進めていっていただきたい。

(2) 特殊詐欺をはじめとする令和3年中の犯罪情勢の分析と各種対策の推進について特殊詐欺の発生だけでなく、多くの未然防止をしているが、いつ被害に遭ってもおかしくない状況である。また、他の犯罪についても分析をしていただき、犯罪を発生させないように、今後もより一層の対策を進めていっていただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「公園の周りなどは子供も多く、遊んで飛び出しそうな所は注意喚起が必要だと思う。」との意見があり、「子供が飛び出しそうな場所で注意喚起を実施していく。」旨を回答した。
- 2 委員から「交番やパトカーの警察官が自宅にパトロールメモを入れてくれ、住民としてとても安心している。今後もこういった活動を継続していただきたい。」との意見があり、「今後も継続して実施していく。」旨を回答した。
- 3 委員から「ATMコーナーへの固定警戒を引き続き実施してほしい。また、ATMコーナー内で携帯電話を物理的に使用できなくすることはできないか。」との意見があり、「固定警戒については可能な限り今後も実施していく。携帯電話の件については検討はされているが、実現はされていない。」旨を回答した。
- 4 委員から「デジポリスについては、アプリを入手していない人でも他のサイトからリンクしてデジポリスを見られるようにしてはどうか。」との意見があり、「本部主管課に意見をあげたい。」旨を回答した。
- 5 委員から「今年の4月から安全運転管理者の業務が拡充されることに伴い、10月からはアルコール検知器を使用して運転者の酒気帯びの有無を確認することとなるが、一般の方に対しても広く飲酒運転の危険性について広報啓発をしてほしい。」との意見があり、アルコールの量と体内に残る時間等について説明するとともに広報啓発に努める旨を回答した。

その他

令和4年度第1回会議は、令和4年5月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

開催日時 令和04年01月21日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所 王子警察署 講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 1名

内容

[業務説明]

- 1 風水害を想定した各種訓練や対策の推進について
  - (1) 町会や自治会と合同で防災訓練や避難所開設訓練を実施するとともに、大規模災害発生を想定し、企業で重機操作の指導を受けるなどの訓練を実施した。
  - (2) 管内に所在する学校においても訓練を実施しており、避難所等において活動する共助リーダーの発掘や育成にも取り組んでいる旨を説明した。
- 2 年末における特殊詐欺被害防止対策の推進について
  - (1) 地域住民に対する防犯講話や法人会と連携した犯罪被害防止広報、歳末防犯防火パトロールなど、年末における特殊詐欺被害防止対策を強力に推進した。
  - (2) 無人ATMコーナーへの警察官の固定配置を継続しており、還付金詐欺を減少させるなど一定の成果が出ている旨を説明した。
- 3 子供と自転車の交通事故防止対策について
  - (1) 管内小学校での交通安全教室の様子や、生徒からの感謝の手紙を紹介するとともに、リモートによる交通安全教室や交通安全情報提供などの広報啓発活動を実施している旨を説明した。
  - (2) 自転車事故防止キャンペーン等の実施状況について報告し、自転車による交通違反取締り結果や、『自転車指導警告カード』による指導警告の実施結果について、また、『自転車指導警告カード』については交通課のみならず、地域課においても活用しており、今後も継続して実施していく旨を説明した。
- 4 前回の協議会で出された意見要望等への取組結果について
 

「車両で北区王子本町1丁目の紅葉橋方向から進行し、本郷赤羽線をJR十条駅方向へ左折しようとする際、歩行者信号の青色が長いため車両が数台しか左折出来ず、渋滞の原因となっているので、信号サイクルの見直しを検討してほしい。」との意見については、交通課で実地調査したところ、指摘があったとおりの状況が確認できたことから、信号サイクルの見直しについて本部主管課に上申中である旨を説明した。
- 5 「バイクや自転車のハンドルにスマートフォンを取り付けて運転し、それを見ることは違反にならないのか。また、運転中に操作した場合はどうなのかを教えてください。」との意見については、バイクや自転車にスマートフォンを取り付けることは問題ないが、スマートフォン等を注視することは取締りの対象となる旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 子供や自転車の交通事故防止対策の推進について
    - ア 当署管内で発生した交通事故の自転車関与率及び子供の関与率について
    - イ 協議会や管内住民の子供や自転車の交通事故防止への関心の高さについて
 以上のことから年間を通じて各種対策を推進していく必要性を説明し、意見を求めた。
  - (2) 特殊詐欺をはじめとする犯罪被害防止対策の推進について
    - ア 令和3年中の管内の特殊詐欺被害件数及び被害額について
    - イ 令和3年中の指定重点犯罪の発生件数について
 以上のことを説明した上で、犯罪の抑止・検挙に努め、管内住民の体感治安の向上を図る必要性を説明し、意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 子供や自転車の交通事故防止対策の推進について
 

署長の説明で交通事故に自転車に関与する割合が高いことが分かった。また、以前の協議会でも意見が出たように交通ルールやマナーについては、子供のころから教えていくことが重要だと思う。今後も交通事故で悲しい思いをする人が少しでも減るように進めていただきたい。
  - (2) 特殊詐欺をはじめとする犯罪被害防止対策の推進について
 

署長からの説明のとおり実施していただき、特殊詐欺のみならず他の犯罪についても発生させないように努め、王子の街に暮らす人々が「安全・安心」を実感でき

るように対策を進めていっていただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「北区の行政書士会では、区内の小中学生に道路交通法などの法教育を実施している。このように他の団体と警察が協力・連携して交通安全教室を実施すれば効果があると思うので検討してほしい。」との要望があった。
- 2 委員から「目の不自由な方が横断歩道を渡る際、音声が行れる歩行者信号が設置されていると助かると聞いたことがある。音声の流れる信号機の設置条件等について教えてほしい。」との要望があった。
- 3 委員から「交差点等で右左折や直進といった複数車線がある場所で、自転車で直進する場合はどの車線を走行するべきなのか。」との質問があった。
- 4 委員から「令和3年中に発生した侵入窃盗や強盗などについて、どこの地域が多かったのか。」との質問があった。
- 5 委員から「無灯火の自転車が多く危険なので注意してほしい。」との要望があり、「今後も指導を継続していく。」旨を回答した。

その他

令和3年度第4回会議は、令和4年3月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和03年度 第2回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和03年11月25日 午後03時00分～午後04時45分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内容

[業務説明]

- 1 前回の協議会が出された意見への回答について
  - (1) 「自転車レーンが設置されている道路で、自転車レーン上に車両が止まっている場合の自転車の通行方法について、また、歩道は自転車通行の標識のある・なしによって違いがあるのかを教えてください。」との意見について  
 自転車は車両であり、車道を通行しなければならないと規定されていることから、駐車車両と十分な距離間隔をとって駐車車両の右側から追い越す。  
 自転車通行の標識がある歩道は、自転車の通行ができる。標識なしの場合は、歩道と車道の区別がある道路では原則車道の左側端を通行しなければならない。  
 例外として自転車の運転者が13歳未満の児童・幼児・70歳以上の者や著しく自動車などの通行量が多く、道路工事や連続した駐車車両があり、道路の左側端を通行することが困難な場合は歩道を通行できる。  
 旨を説明した。
  - (2) 「電動キックボードがニュース等になっており、これから注目されると思う。こういった取締りをするのか方針等が決まっていたら教えてください。」との意見について  
 現在、実証実験等を行いながら具体的な交通ルールの在り方について関係省庁において検討が進められているところだが、当署においては、利用者に対し、基本的な交通ルールや安全な乗り方について周知徹底を図るとともに、違反車両に対しては、看過することなく積極的な指導警告を含めた取締りを推進していく。  
 旨を説明した。
- 2 コロナ禍における重大交通事故防止対策について  
 各種キャンペーンや小・中学生に対する自転車交通安全教室、二輪車交通事故防止広報パレードを実施するなど自転車・二輪車の交通事故防止を中心に対策を実施したと説明した。
- 3 秋の全国交通安全運動の実施結果について  
 絶対に交通死亡事故を発生させないとの強い決意のもと各種取組等を推進した結果、運動期間中の人身事故の発生件数が前年の運動期間中に比べて減少し、交通死亡事故も発生しなかったと説明した。
- 4 特殊詐欺撲滅のための継続した広報や情報発信の実施について  
 各種キャンペーンや東京2020大会女子テコンドー日本代表「山田美諭」選手に一日王子警察署長を委嘱し、一日署長と共に特殊詐欺被害防止の呼び掛け等、広報啓発活動を実施した。また、山田美諭選手が特殊詐欺被害防止の留意事項を呼び掛けるYouTube動画を紹介した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 風水害を想定した各種訓練や対策の推進について
    - ア 当署管内の地形の特性及び河川の状況から風水害のリスクについて
    - イ 過去の風水害による被害発生状況について
 以上のことから年間を通じて対策や訓練を推進していく必要性を説明し、意見を求めた。
  - (2) 年末における特殊詐欺被害防止対策の推進について
    - ア 当署管内の特殊詐欺の被害件数及び被害額について
    - イ 特殊詐欺被害防止対策としての各種広報啓発活動やATM固定配置警戒などの取組について

以上のことを説明した上で、これから年末に向け、慌ただしくなる中、更なる特殊詐欺被害の発生も予想されることから継続して各種対策を講じていく必要がある旨を説明し、意見を求めた。

## 2 警察署協議会からの意見要望等

- (1)風水害を想定した各種訓練や対策の推進について  
署長の説明通りに取り組んでいただき、併せて管内の企業に対して、防災に関する指導や、連携した防災訓練を実施していただきたい。
- (2)年末における特殊詐欺被害防止対策の推進について  
特殊詐欺の被害件数や被害額が昨年と比べても増加傾向にあり、危機的な状況であると思う。  
今後も各種対策を継続していただきたいと思うが、最近ATMコーナーで警察官が警戒しているのを見て安心している。今後もATMでの警戒は継続していただき、被害防止に努めていただきたい。

### [その他の意見要望等]

- 1 委員から「自転車で交通ルールを守らなかったり、マナー違反をする者に対しては、『自転車指導警告カード』を活用するなどして、注意・警告・取締りを実施してほしい。」との要望があった。
- 2 委員から「自転車のルール等については、大人になってから教えるのでは遅く、子供のころから教えていかなければいけないと思う。小学生に対する交通安全教室をこれまで以上に実施し、ルール・マナーを守るよう指導をしてほしい。」との要望があった。
- 3 委員から「車両で北区王子本町1丁目の紅葉橋方向から進行し、本郷赤羽線をJR十条駅方向へ左折しようとする際、歩行者信号の青色が長いいため車両が数台しか左折できず、渋滞の原因になったり、中には抜け道を通る車両もあり、危険であるため信号サイクルの見直しを検討してほしい。」との要望があった。
- 4 委員から「バイクや自転車で飲食物の宅配をしている人がハンドルにスマートフォンをセットして運転している。運転中にスマートフォンを見たり、操作したりするのは違反にならないのか教えてほしい。」との要望があった。

その他

令和3年度第3回会議は、令和4年1月開催予定